

令和7年度(2025年度)第6回宝塚市上下水道事業審議会 書面審議結果

意見募集期間:令和7年9月22日(月)~10月6日(月)

I 水道事業経営戦略(案)について

No.	ページ 修正前 (修正後)	審議会 意見・質問	意見・質問に対する対応、考え方 又は 修正内容	
			内容	修正
1	全般	特に宝塚市水道事業経営戦略(案)に対して修正等の指摘はありません。 現在の状況、今後の見通し、将来リスク、対応策などが盛り込まれており市民目線では納得感あり。	ご意見ありがとうございます。	無
2	全般	将来の人口減少の影響で上水道の利用減少、収益構造の悪化が見込まれる中、水道料金の再値上げ等が避けられない事態が間近に迫っており、それに対する対応策や再値上げのシナリオを十分に構築しておく必要があります。	ご意見ありがとうございます。計画的・定期的な料金水準の検討の必要性について、市民にご理解いただけるような説明の方法を検討します。	無
3	全般	高度成長期以降に上水道設備の設備投資が集中したことで、現在において老朽化・更新時期が重なる状況になっています。上水道施設の資産更新は優先順位、資金需要などを見ながら更新需要を円滑に取組む姿勢が必要と考えます。	ご意見ありがとうございます。中長期的なアセットマネジメント計画を策定しており、優先順位や資金需要などを勘案しながら更新に取組みます。	無
4	全般	水道事業の持続可能な運営を推進するためには、経営戦略(水道ビジョン2035)に基づいた設備投資、財政計画、組織人事、効率化などを確りと検証しながら取組んで頂くことが非常に重要かと思います。	ご意見ありがとうございます。経営戦略策定後は、毎年の決算において指標値を用いて計画の進捗状況を検証し、持続可能な運営に努めてまいります。	無
5	全般	異常気象による豪雨、台風、地震、山火事など、今年になって国内各地で災害が起っております。リスクに対する備えは待ったなしの状況になっています。設備耐震化、不測の事態対応、応急給水拠点構築、応急給水栓設置などの防災対策にも注力が必要と考えます。また、上下水道に係る業務継続計画(BCP)の整備や大規模災害発生時の対応シミュレーションの作成等、日頃からの取組をお願いします。	ご意見ありがとうございます。耐震化の推進に加え、定期的な訓練など日頃から取組みを行ってまいります。	無
6	全般	外部学識有識者、市内関係団体代表、市民代表等、参加された審議委員の皆さまにはそれぞれご事情があったかと思いますが、今回の審議会の出席率は私が参加致しました他審議会に比べて厳しいものがありました。この点、反省を踏まえて運営については見直しと工夫をお願いします。	ご意見ありがとうございます。常に過半数ギリギリでの開催となり、急遽中止とせざるを得ない回が生じるなど大変ご迷惑をおかけいたしました。審議会の運営について、より良い方法を模索してまいります。	無
7	全般 財政計画	本経営戦略の基本的な方向性自体に大幅な修正を加える必要はないと考えます。 ただし、市民への説明方法の工夫が極めて重要です。とりわけ財政計画においては、 現預金:短期的な安全余裕・緊急時の備え 借入(企業債):大型更新費用の平準化手段 料金収入:日常的な維持管理および計画的更新を支える恒常財源 といった三者の役割を明確に区分し、「将来世代への負担の先送りを避けるために必要最小限の負担をお願いします」というメッセージとともに、分かりやすく整理して示すことが重要です。	ご意見ありがとうございます。いただきましたご意見を今後の市民説明の際に活かしてまいります。	無

令和7年度(2025年度)第6回宝塚市上下水道事業審議会 書面審議結果

意見募集期間:令和7年9月22日(月)~10月6日(月)

Ⅰ 水道事業経営戦略(案)について

No.	ページ 修正前 (修正後)	審議会 意見・質問	意見・質問に対する対応、考え方 又は 修正内容	
			内容	修正
8	財政計画	また、料金改定の試算に関しては、資産維持率(年間の更新投資額を資産総額で割った指標)について、標準的な目安である3.0%を達成できていない自治体が多い現状を前提として説明することが望まれます。今回の1.0%設定の妥当性を示すにあたっては、以下の2点を明示すると説得力が高まります。 量的根拠:管路延長や更新単価に基づき、1%の投資で「年間に何km、どの施設まで更新可能か」を具体的に換算する。 比較根拠:近隣および同規模自治体の資産維持率や更新実績との客観的比較を提示する。 あわせて、料金改定により不足額のどの程度を補うのか、資金調達の内訳(料金・借入・内部留保の役割分担)を示すと、市民や議会の理解が一層得やすくなります。	ご意見ありがとうございます。 いただきましたご意見を参考に、資産維持率の設定方法について根拠整理を行い、市民や市議会への説明に努めてまいります。	無
9	財政計画 (40)	料金水準の提示に際しては、「〇%の改定」という割合だけでなく、標準世帯(例:20m ³ /月)における月額増加分を具体的な金額で併記することが有効です。家計への影響を直感的に伝えやすくなり、負担感を和らげる効果が期待できます。また、可能であれば低所得世帯への軽減措置(減免・分割払いなど)の有無も併せて説明し、安心感と納得感を醸成してください。	ご意見ありがとうございます。 参考値として、標準世帯における概算金額を追記します。低所得世帯への対応についても今後の参考とさせていただきます。	有
10	財政計画	さらに、今後も水道・下水道両事業で料金改定が継続的に必要となる場合には、同時改定を避け、段階的かつ予見可能な調整を行う方針を示すことが適切です。加えて、物価や工事単価の変動を踏まえて定期的な点検(例:3年ごと)を行い、必要に応じて改定を見直す仕組みを示すことで、市民にとっても将来負担が見通しやすくなります。このような「計画的・段階的な改定方針」を打ち出すことで、料金ショックを抑制しつつ、更新投資の確実性と財政の健全性を両立できると考えます。	ご意見ありがとうございます。 継続的な料金水準の検討については、市民にご理解いただけて、将来負担が見通しやすくなるような説明の方法を検討してまいります。	無
11	全般	8月の書面会議の資料(縦見開き形式)から、今回の資料(横スライド形式)へと大きく変化していますが、今回の資料は説明用の資料なのか、8月の時の資料の形式は取りやめて、今回の形式とするのか?	ご質問ありがとうございます。 8月の書面審議は「ビジョン」(縦)、9月の書面審議は「経営戦略」(横)となっておりそれぞれ形式が異なります。経営戦略をあえて横スライド形式としているのは、市民や議会説明の際の資料を兼ねているためです。	無

令和7年度(2025年度)第6回宝塚市上下水道事業審議会 書面審議結果

意見募集期間:令和7年9月22日(月)~10月6日(月)

I 水道事業経営戦略(案)について

No.	ページ 修正前 (修正後)	審議会 意見・質問	意見・質問に対する対応、考え方 又は 修正内容	
			内容	修正
12	9	コロナ後に、見直しを行ったにもかかわらず、実績の有収水量が、下回っている理由は何か？ この検証ができていないと、次期の計画も過大な計画になってしまわないか？	ご質問ありがとうございます。 経営戦略の中間見直しは、令和3年8月に策定を行いました。その時点では、令和2年度の有収水量までが分かっており、令和2年度は、コロナ禍での在宅時間の増加などから有収水量は増量となっていました。その傾向が続くのか大きく落ち込むのか策定時点では見通すことが難しく、一定程度手洗いやうがい、リモートワークでの在宅勤務などが継続すると見込みましたが、実績の有収水量は想定を下回る結果となりました。今回策定の経営戦略では、令和2年度・令和3年度の実績値は異常値として除いて試算しており、コロナ禍の一時的な水量増加による影響は受けない推計としています。	無
13	8~12 (8~12)	図中ならびにPIOのまとめには、「経営戦略」と表示されていますが、p8, p9では、水道事業経営戦略(中間見直し)、計画後期(R3-R7)の財政計画の見直しなど、同義が異なる表現で示されており、読み手がどれのことを指しているのかわかりにくいのではないかと。図中やまとめの経営戦略と表現されているものが、どのことを指すのか、明示的に示した方が良いと思われる。	ご意見ありがとうございます。 ご指摘の内容を参考に「経営戦略(中間見直し)」で統一し、表現を整理します。また、グラフ中の「経営戦略」が「経営戦略(中間見直し)」の意である旨を記載します。	有
14	10 (10)	「経常収益は、有収水量の減少により実績値が経営戦略を下回ったものの、令和6年度(2024年度)の44年ぶりとなる料金改定(平均改定率19%)により経営戦略を上回りました。」の部分について、「実績値」の主語をわかりやすくし、「経常収益の実績値は」とし、「下回った」には「一時」を付ける。	ご意見ありがとうございます。 ご指摘を参考に表現を修正します。	有
15	10 (10)	「これらの結果、経営戦略では計画後期において…」の部分について、ここでの「経営戦略」はずっと「計画後期の経営戦略」を指しているのではないかと(先に示したどのことを指しているのかわからないということとつながっています)。 そのため、ここであえて「計画後期」とすると、二重に記述していることになるのではないかと。そのため「計画後期」というのは不要では？	ご意見ありがとうございます。 ご指摘の内容を参考に「経営戦略(中間見直し)」で統一し、表現を整理します。	有

令和7年度(2025年度)第6回宝塚市上下水道事業審議会 書面審議結果

意見募集期間:令和7年9月22日(月)~10月6日(月)

Ⅰ 水道事業経営戦略(案)について

No.	ページ 修正前 (修正後)	審議会 意見・質問	意見・質問に対する対応、考え方 又は 修正内容	
			内容	修正
16	11 (11)	「施設・設備の耐震化費用については、令和6年度(2024年度)に高台下配水池の更新を実施したことなどから実績額が経営戦略を上回りました。」について、表現を合わせるなら「実績値」	ご意見ありがとうございます。 ご指摘のとおり修正します。	有
17	11 (11)	「施設・設備の更新費用のうち、新庁舎建設事業費は令和3年度(2021年度)4.6億円、令和4年度(2022年度)6.7億円を見込んでいましたが、実績値は令和3年度(2021年度)1.1億円、令和4年度(2022年度)6.6億円となり、経営戦略を下回りました。その他の更新費用については、可能なものは部品補修(修繕)で対応するなど、個々の設備等の状況に応じた対策を実施したことにより実績額は経営戦略を下回りました。」についても、「値」	ご意見ありがとうございます。 ご指摘のとおり修正します。	有
18	13 (13)	経営の健全性・効率性(①~⑧)> 「①経常収支比率」は100%を下回っており、6年連続で経常赤字が続く、厳しい経営状況が続いています。について、これは料金改定前の数字でしょうか?その場合、そのことをはじめに明記した方がよいのでは?	ご意見ありがとうございます。 ご指摘のとおり、令和5年度決算での分析であり、料金改定前である旨を明記します。	有
19	25 (25)	取組項目⑥:料金水準の適正化と定期的な検証(経営健全化に向けた取組み)について、ここには〇〇に取り組みます という見出しは書かないのでしょうか?(他との整合性)	ご意見ありがとうございます。 記載項目を調整し、見出しを追記します。	有

令和7年度(2025年度)第6回宝塚市上下水道事業審議会 書面審議結果

意見募集期間:令和7年9月22日(月)~10月6日(月)

I 水道事業経営戦略(案)について

No.	ページ 修正前 (修正後)	審議会 意見・質問	意見・質問に対する対応、考え方 又は 修正内容	
			内容	修正
20	31 (31)	投資計画について、この図の説明はないのでしょうか？	ご意見ありがとうございます。 説明を追記します。	有
21	32	給水収益の見直しについて、R3の見直して、有収水量が実績値を下回ったことに対して、どのような考慮をされましたか？	ご意見ありがとうございます。 経営戦略の中間見直しでは、令和3年度以降も一定程度手洗いやうがい、リモートワークでの在宅勤務などが継続すると見込んだため、実績の有収水量が下回る結果となりましたが、今回策定の経営戦略では、令和2年度・令和3年度の実績値は異常値として推計の根拠から除いて試算しており、コロナ禍の一時的な水量増加による影響は受けないう考慮しています。	無
22	33 (9)	料金改定を考慮しない場合の財政計画について、今更、申し上げるのはよくないと思いますが、R6,7に料金改定をしても、なお、純利益がマイナスというのは、(有収水量が見込みより少なかったとしても)改定が十分ではなかったということになるのではないか。このことについて言及する必要はないでしょうか。	ご意見ありがとうございます。 令和6年度及び令和7年度に料金改定を行ったこと及びその改定には近年の物価上昇を反映できていないことについて、P9に記載しています。少し強調する方向で修正します。	有

令和7年度（2025年度）第6回宝塚市上下水道事業審議会 書面審議結果

意見募集期間：令和7年9月22日（月）～10月6日（月）

I 水道事業経営戦略（案）について

No.	ページ 修正前 (修正後)	審議会 意見・質問	意見・質問に対する対応、考え方 又は 修正内容	
			内容	修正
23	37 (37)	資産維持率に応じた試算結果の各パターンでの比較について、この改定率は、どの指標をどのレベルに維持しようとしたときに、このように設定されるのか、わかりにくいです。	ご意見ありがとうございます。 この改定率は、指標ベースではなく、総括原価に各資産維持率に基づく資産維持費を算入し、給水収益不足額分を改定する場合の改定率です。その場合の各指標値について、参考に下部に記載しています。 「総括原価に各資産維持率に基づく資産維持費を算入し、給水収益不足額分を改定する場合の改定率」であることがわかるよう追記します。	有
24	38 (38)	財政計画の考え方①の方針について、一定理解は致しますが、一般論として、更新需要がまだ先の自治体や施設寿命を最大限活用できる場合、3%を確保する必要性が相対的に低いと思いますが、宝塚はその点どうなのでしょう？ AI分析の結果などから、この点を説明できるでしょうか。 今の利用者が支払うべき更新費用を、将来世代に先送りしていることになっていなければ1%でも良いと思いますが、持続可能な水道事業というときに、料金回収率が100%を超えているからOKというのは根拠として弱い気がします。	ご意見ありがとうございます。 アセットマネジメントにおいて、管路の材質により使用可能年数を見込むこととの整合を踏まえ、検討を行いました。資産維持率は資産の取得時から更新時までの物価上昇分を内部に留保する目的で設定されるものであり、例えばAIによる使用可能期間の延長について物価が2%ずつ上昇するという前提が続くと仮定した場合、資産維持率は上昇するという結果となりました。今後の物価の動向次第ではありますが、現時点では、まず標準を目指し、1%から徐々に資産維持率を上げていくような見直しを行って行くことが最も現実的だと考えています。よって、経営戦略の中に、1%で十分というわけではなく、段階的に見直していく前提である旨を追記します。	有

令和7年度（2025年度）第6回宝塚市上下水道事業審議会 書面審議結果
意見募集期間：令和7年9月22日（月）～10月6日（月）

I 水道事業経営戦略（案）について

No.	ページ 修正前 (修正後)	審議会 意見・質問	意見・質問に対する対応、考え方 又は 修正内容	
			内容	修正
25	3～16	経営戦略は、ビジョンに合わせた各事業の試算と投資計画からのスライドに相当すると考えられるが、ご提案の経営戦略は前半が多く、後半の内容がぼやけてしまっている。ビジョンについても公開するのであれば、ビジョンに書いているような内容は経営戦略から外して、P.17以降の内容でまとめる方がすっきりすると考えられる。	ご意見ありがとうございます。 ビジョンと経営戦略は同じ時期に公表を予定していますが、同時に全てに目を通していただけたとは限らないため、経営戦略単体でもなるべくご理解いただけるよう現在の形にしています。 経営戦略策定・改定マニュアルにおいては、(1)事業概要(2)将来の事業環境(3)経営の基本方針(4)投資・財政計画(5)経営戦略の事後検証、改定等に関する事項の記載が求められており、特に水道料金改定をしたばかりでなお状況が芳しくないという説明が必要と考え、経営戦略中間見直しの検証も加えました。10月27日のご審議において、皆様にご意見をいただき、前段((1)(2)部分)が多すぎるというご意見が多いようであれば、現行経営戦略後期の検証を巻末資料に落とし、構成の変更を検討します。	未
26	39 (39)	P39の青字について、なぜこのような設定をしているのか説明してほしい。	ご意見ありがとうございます。 財政計画策定における設定の考え方は、P38に示したとおりです。 P38の考えに基づき財政シミュレーションを行った場合に、P39の青字に記載した内容が反映されることになります。P39の試算条件の青字部分に参照ページを記載します。	有
27	40 (40)	水道、下水道ともに、改定が2回にわたって行われることが書かれている。一回目の改定率は、現在の料金に対する改定率であるが、2回目の改定率は、1回目の改定率で改定された料金に対する比率なのか、現水道料金に対する改定率なのか、不明である。うまく説明する必要があるように思います。	ご意見ありがとうございます。 1回目の改定は現在の料金を、2回目の改定は1回目の改定をベースとしたものとなります。わかりやすいようその旨を追記します。	有

令和7年度（2025年度）第6回宝塚市上下水道事業審議会 書面審議結果
意見募集期間：令和7年9月22日（月）～10月6日（月）

I 水道事業経営戦略（案）について

No.	ページ 修正前 (修正後)	審議会 意見・質問	意見・質問に対する対応、考え方 又は 修正内容	
			内容	修正
28	18	P18 経営の基本方針 連携・協働 官民連携の <u>推進</u> と上下水道の一体化・近隣市町との広域連携の <u>取組</u> ↓ 官民連携の <u>検討</u> と上下水道の一体化・近隣市町との広域連携の <u>検討</u> あるいは、 ※ 武庫川水系・流域の他の自治体との協力 と書き直す。	ご意見ありがとうございます。 ビジョンの取組項目に関する柱の抜粋箇所となりますので、10月10日に実施いたしましたビジョンのご審議での結論を反映し、このままの表現とさせていただきます。	無
29	28	P28 連携・協働 官民連携の <u>推進</u> と上下水道の一体化・近隣市町との広域連携の <u>取組</u> ↓ 官民連携の <u>検討</u> と上下水道の一体化・近隣市町との広域連携の <u>検討</u> あるいは、 ※ 武庫川水系・流域の他の自治体との協力 と書き直す。	ご意見ありがとうございます。 ビジョンの取組項目に関する柱の抜粋箇所となりますので、10月10日に実施いたしましたビジョンのご審議での結論を反映し、このままの表現とさせていただきます。	無